

# 穂学



令和5年度

広州日本人学校 学校便り

[No.24]

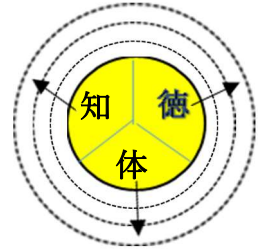
令和6年2月27日(火)

発行責任者 校長 加藤康徳

「磨く」⇒「輝く」には！

教育における「磨く」と「輝く」について私の考えを述べたいと思います。

保護者の皆さまは、学校教育における「磨く」とは何だとお考えでしょうか。おおよそ「磨く」と言えば、多くの方は「石を磨く」＝「ダイヤモンドのように輝かせる」というイメージなのではないでしょうか。もちろん私もそのように考えています。



ただ、「物を磨いて輝かせる」と「教育で人を磨き輝かせる」ことの大きな違いは、「物質を輝かせるために磨く」ということは、例えばダイヤモンドなら物理的に削っているため体積が小さくなっていきますが、人間は教育で磨くとその人間性が大きくなっていく」という点であると私は考えます。これは「成長する」とか「可能性が広がる」と言い換えても良いかもしれません。（※そこには年齢や性別、生まれた場所、経済力の有無などは関係ありません。）

日本の教育の特長は「子どもの可能性＝能力（心、頭、体）」をバランスよく磨く」ということに視点を置いている点だと私は考えています。

しかし、教育において子どもを磨くということには、ものすごい技術と連携が必要になってきます。

（※ここでいう技術とは「教育技術」であり、連携とは「学校・保護者・地域社会（日本・中国の両方）」を指します。）

それぞれの役割が持っている力をお互いに連携させ「子どもを教育で磨く」ことがこれからの時代を担う子ども達を逞しく育てることになると私は考えます。このことは、たとえ今後 AI（人工知能）が発達しても「人」が「子ども」を教育すること自体は変わらないのではないのでしょうか。

在外教育施設である本校では教育技術を高めるために「広州で受けた教育を未来で実感できる子どもの育成を目指したダイナミックな授業づくり」に重点を置いて教員は日々の研修に励んでいます。

ダイナミックな授業



子どもが輝けばやがては世界が輝きます。これからも様々な場面で保護者・地域社会（日本・中国の両方）の方々のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「小中連携授業の紹介です。」※中学部の廣本先生が小学部5年生に「数学の楽しさ」について授業を行いました。



<5年生 算数>

子どもの感想

- ・今回は数学の授業のように論理的に学習して、「一般化」することができました。
- ・今日は数学の楽しさや「一般化」という言葉を学んだので中学生になるのがたのしみになりました。

## 「授業参観・懇談会（2/3）のアンケート結果」

今年度最後の参観日のご来校、ありがとうございました。アンケートの集計が終わりましたので、結果をお知らせいたします。（※保護者の皆様のご協力に感謝いたします。）

授業参観の満足度>①満足 ②おおむね満足 ③やや心配 ④不安

満足← →心配・不安 (人数)

	①	②	③	④	合計
1. 授業の様子	170名	75名	2名	2名	249名
2. 子どもの様子	144名	98名	5名	2名	249名

※小数第2位を四捨五入して表示

○満足度の算出方法

満足 (①②) ÷ 心配・不安 (③④) × 100 = 満足度 (%)

回収総数 (249)

※PTA戸数は270

	満足度		
	1学期	2学期	3学期
1. 授業の様子	97.1%	97.6%	96.8%
2. 子どもの様子	85.7%	88%	94.3%

※概ね高い評価を頂けたと考えております。

### <自由記述に対する学校側の回答>

※全体に関わる内容のご意見について、現時点での本校の考えを掲載しております。

※その他の内容については該当の教員に伝えております。

※お子様の様子で気になることがございましたら、遠慮することなく担任にお尋ねください。

#### ○「お弁当の時間が少ないのではないか。」

→ 本校は「小学部と中学部の両方が設置されている。」「スクールバスによる登下校（基本的に全児童生徒）」  
「400人規模の学校（日本人学校の中では大規模校に分類）」など、日本とまたは他の日本人学校とは違う環境の中で日課表が組まれております。本校としてもお弁当の時間をゆっくり取らせてあげたいとは思いますが、「限られた時間の中でそれぞれの時程の内容を最低限保障する。」という考えに基づき時間を決め、割り振っています。よって、現状をご理解いただきたいと考えております。

#### ○「音楽の授業で床に座るのは衛生面でどうか。机などがあれば良いのではないか。」

→ 指導の内容などを含めて検討させていただきます。

#### ○「授業参観の平日開催を検討してほしい。」

→ 今年度は昨年の11月の平日に参観日を開催いたしました。来年度も同じような時期に開催いたしますので、ぜひご来校ください。